

# DAILY JAPAN SHIPPING NEWS

日刊ジャパン SHIPPING ニュース  
特集【アジア レポート】

K.K. 海運経済新聞社  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-6-1(京橋長岡ビル)  
TEL 03(3552)7596(代表)  
FAX 03(3552)7598  
日刊(土日祭休刊)購読料1ヵ月 円共14,000円  
昭和25年5月10日 第3種郵便物認可  
昭和32年8月31日 国鉄東局特別承認新聞紙第119号  
振替口座東京149081

## 第32回アジア船員サミット会議 The 32nd Asian Seafarers' Summit Meeting 《ASSM》

The 32nd Asian Seafarers' Summit Meeting  
3rd September, 2015 Kyoto International Conference Center



深まる連帯 強固な結束 『アジアの声』を発信  
13カ国・19組合が参集 過去最多70名が集結

### 森田 ASSM 名誉議長「国際海運秩序の構築に大きな役割を果たす」 船員遺棄事案等への組合間ホットライン『緊急連絡体制』を深化へ

アジア地域の船員労働組合が、「結束・連帯」を一段と強固にした。国際運輸労連 (ITF) 加盟・非加盟の枠を超え、一致団結して共通の課題に対処していく。



国立京都国際会館 深緑に包まれる

\* \* \*  
アジア地域の船員組合が一堂に会し、様々な課題に対して意見・情報を交換することで認識の共有化や連帯強化を図る「第32回アジア船員サミット会議 (The 32nd ASSM)」が2015年9月3日、京都市左京区の国立京都国際会館内で開催された。今回は13カ国・地域—19船員組合から過去最多となる70名が集結。海難事故や船員遺棄事案が発生した際に組合間で迅速に情報を共有するホットライン『緊急連絡体制』をさらに深化させることで合意した。

全日本海員組合 (JSU) の森田保己組合長 (ASSM 名誉議長) は、「国際海運社会において世界的な船員供給地域であるアジアの重要性は高まり続けている。アジア各国の船員組合である我々もまた、国際的な海運秩序の構築と船員社会の維持・発展にますます大きな役割を果たしていかなければならない」等と述べ、国際船員社会におけるアジア

の存在感の高まりを背景に、『アジアの声』を強く、広く国際海運社会に発信していく考えを強調した。



13カ国・地域—19組合、過去最大70人が集結